

IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況（2023年04月度）

- 参加手続きが完了しているISP（インターネット・サービス・プロバイダ）は**77社**。
当該ISPの約**1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**4,685件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、**1日平均388件**の対象を検知しISPへ通知。

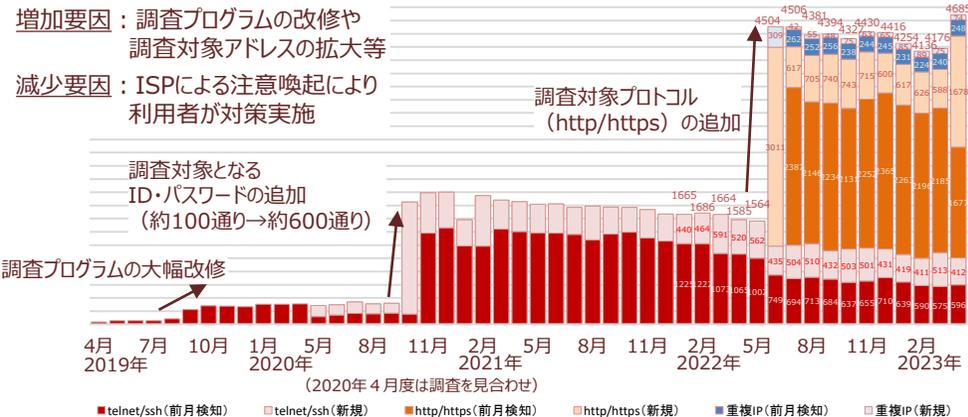
NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

4,685件（3月度:4,176件）

（参考）2019年度からの累積件数：87,435件
ID・パスワードが入力可能だったもの：20.9万件

*）特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



NICTER注意喚起※の取組結果

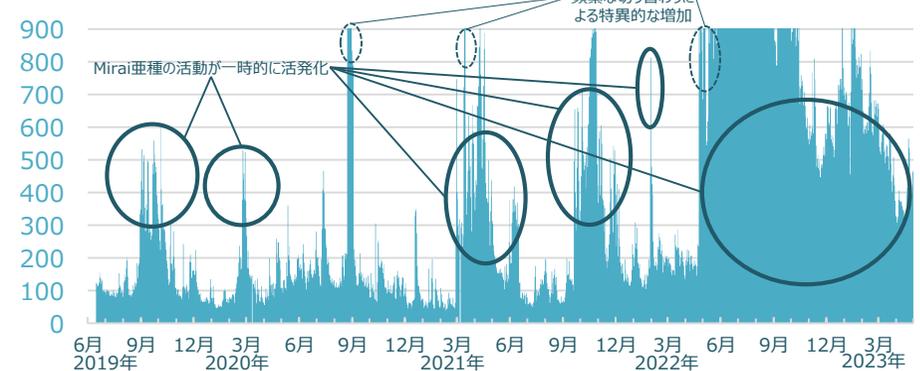
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

1日平均388件（3月度:516件）

（参考）期間全体での値：1日平均440件
最小：40件(2021/2/10)／最大：3,288件(2022/6/6)

**）NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



✓ NICTER注意喚起における2022年4月下旬以降の増加は、Mirai亜種の活動活発化を受け、国内の脆弱な機器(主にDVR/NVR)が感染したことによるものと考えています。